

研修名 第2回 京丹後市自主研修会

平成29年11月25日(土) 13:45~15:30

講演 「みんな違ってみんないい! ~一人一人を大切に作る保育を作る~」

講師 大阪教育大学 小崎 恭弘 氏

1 講演要旨

- 1) 日本の子ども観
 - ①日本の子ども観
 - ②こどもとは何か
- 2) 人としての権利
 - ①日本国憲法に見る人権
 - ②児童福祉法の理念・児童憲章
- 3) 保育における人権
 - ①保育指針における人権
 - ②全国保育士会倫理綱領
 - ③児童の権利とは
 - ④こどもの権利を守るとは
- 4) 保育とは
 - ①ひとり一人をとらえる保育の在り方
 - ②こどもの人権を守り、最善の利益を作るために

2 感想

子どもの観点から詳しく丁寧に「人権とは」を学ぶ講演でした。子どもは一人では生きられず、大人になった自分もそこを通過してきた。と言われ本当にそうだなと感じました。自分は元々子どもだったと思いなおすと、気持ちがあつと楽になりました。子どもの行動一つ一つに意味があるのだと改めて気づけ、色々な失敗を重ねて大人になっていくのだと感じました。自分が今まで凝り固まった考え方だったと反省しました。

また「子どもを真ん中におく保育」「子どもにとって一番いいものであること」が大切と言われました。そのためには、排泄・食事・睡眠の生活習慣を大事にすること、大人都合ではなく、子どもの気持ちを共感したり応答したりと受け止めていくことが大事であると改めて感じました。1歳児を担当する中で、子どもをスムーズに動かすことを考えてしまい、丁寧な関わりができていなかったと反省しました。大人が全部してしまうのではなく、自分で簡単な身の回りのことをしようとする姿を見守り、時に援助していく大切さを感じます。

「人権をないがしろにする保育は保育ではない」という言葉を忘れないよう仕事に活かしていきたいです。

(記録 丹後こども園 上田 成美)